

市町村名	うるま市
------	------

平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア
担当部署名	都市建設部 勝連城跡周辺整備室	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				文化資源を活用したまちづくり
				Ⅲ-3-(2)

事業内容 世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。

効果発現年度 当年度 後年度(令和4年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	16,848	0	90,123	
		(b) 予算現額	239,405	0	520,192	
		(c) 増減額(b-a)	222,557	0	430,069	0
		(d) 繰越額	-	59,165	0	100,709
		A. 計(b+d)	239,405	59,165	520,192	100,709
		B. 執行済額	180,240	57,127	354,142	91,250
		うち交付金充当額	144,192	45,701	283,314	73,000
		次年度繰越額	59,165	0	100,709	0
		執行率(%) (B/A)	75.3%	96.6%	68.1%	90.6%
		予算の状況の説明	当初予算:委託費(文化観光施設建築・展示基本設計) 用地費及び物件移転補償金(入口ゲートエリア) 変更予算:委託費(駐車場、入口広場の実施設計) 用地費及び物件移転補償金(駐車場、入口広場)			

H29活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
文化観光拠点実施設計の実施	目標	()	(実施設計の実施)	()	()
	実績		実施設計の完了		
文化観光施設基本設計の実施	目標	()	(基本設計の実施)	()	()
	実績		基本設計の完了		
用地取得	目標	()	(用地取得の実施)	()	()
	実績		用地取得の完了		
物件移転補償(一般補償、公共補償)	目標	()	(補償の実施)	()	()
	実績		補償の完了		

達成状況説明 平成29年度に文化観光拠点実施設計及び文化観光施設基本設計を完了した。
平成30年度に用地取得、物件移転補償(一般補償、公共補償)を完了した。

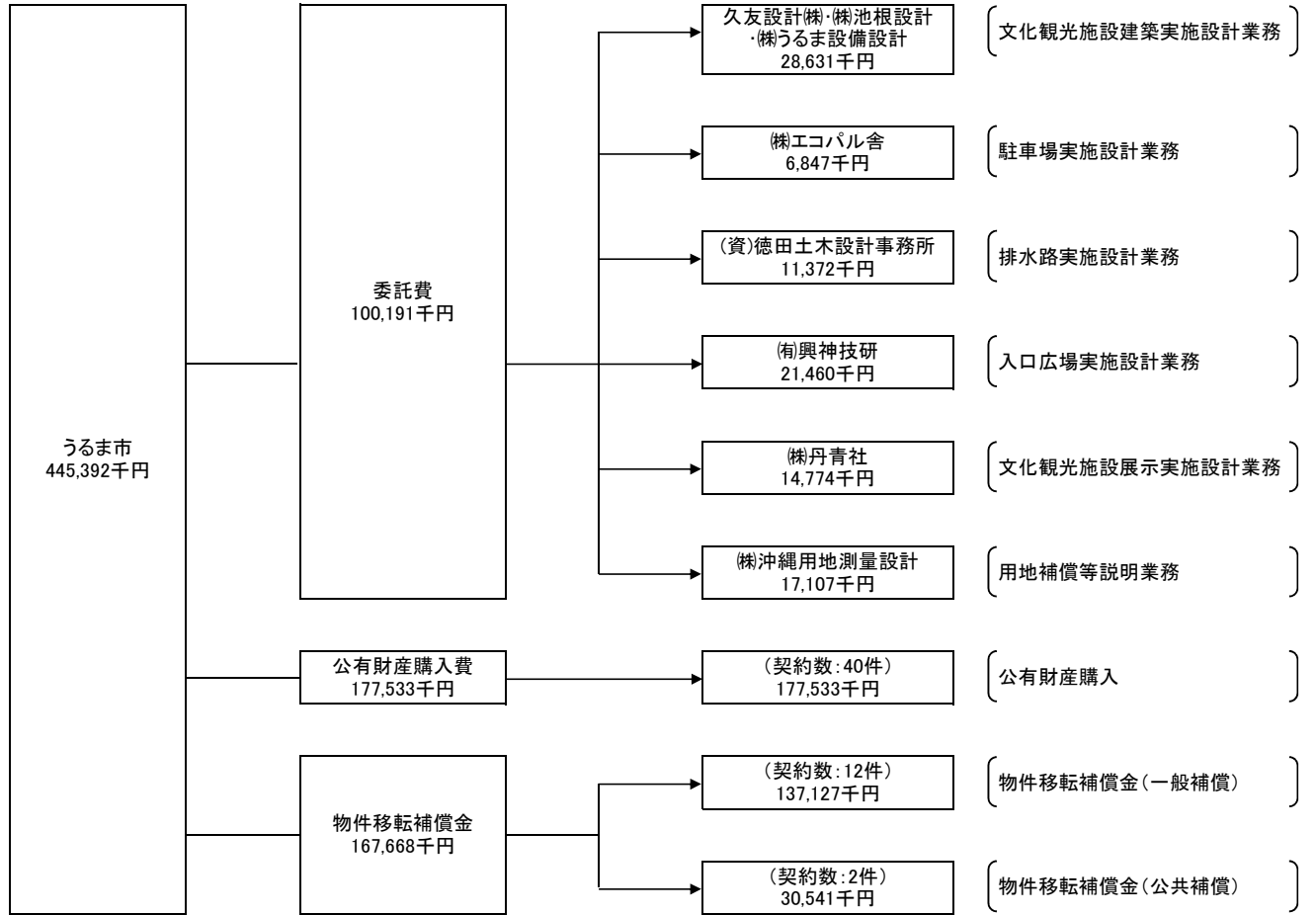
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値 (年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (R4年度)	
	文化観光拠点(駐車場・入口広場) 実施設計の完了	目標	()	()	(実施設計 の完了)	()	()
		実績			実施設計 の完了		
	文化観光施設(建築・展示) 基本設計の完了	目標	()	()	(基本設計 の完了)	()	()
		実績			基本設計 の完了		
	用地取得の完了	目標	()	()	(用地取得 の完了)	()	()
		実績			用地取得 の完了		
物件移転補償(一般補償、公共補償)	目標	()	()	(物件移転 補償の完 了)	()	()	
	実績			物件移転 補償の完了			
【R4成果目標】 年間入場者数300千人	目標					300千人	
進捗 状況 説明	<ul style="list-style-type: none"> 文化観光拠点(駐車場・入口広場)実施設計は、H30年度予定の工事設計書の資料となる。 文化観光施設(建築・展示)基本設計は、H30年度予定の実施設計の資料となる。 用地取得及び物件移転補償は、H30年度以降に整備する箇所の土地に存する支障物件の移転とその土地の取得であり、H29年度契約分はH30年度に完了した。 						

取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 文化観光拠点(駐車場・入口広場)実施設計の完了に伴い、次年度以降に行う工事の計画的な発注方法を定める必要がある。 文化観光施設建築基本設計資料を基に、次年度の実施設計に向けて工事の施工性及び建物の機能並びに意匠を考慮した詳細な設計に取組む必要がある。 文化観光施設展示基本設計資料を基に、次年度の実施設計に向けて展示の目的と役割や展示のコンセプトに沿った設計を行う必要がある。 用地取得と物件移転補償の契約箇所が、農業者の農地を含めた住宅補償で移転先の農地及び住宅選定に時間を要したため、土地の明渡しに年度内に完了できず、繰越しとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数工種の工事を発注するため、工事の進捗を回りながら段階的に工事発注時期を検討する。 文化観光施設建築設計で経済的な施工方法及び意匠を検討する。 文化観光施設展示設計では、勝連城跡の価値と魅力を向上させる展示を検討する。 農地及び住宅の移転先選定に時間を要することが想定されることから被補償者への事前説明を早期に着手し契約締結後は速やかに移転できるように交渉を進めておく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 複数工種の工事を段階的に整備するため、工事の進捗を回りながら年度内完了に向けて速やかに工事発注を行う。 文化観光施設建築実施設計において工事の施工性及び建物の機能並びに意匠を考慮し最も経済的な設計に取組む。 文化観光施設展示設計では、勝連城跡の価値と魅力を向上させる展示方法に取組む。 次年度以降に取得する用地(物件移転補償含む)について、被補償者への事前説明を早期に着手し契約締結後は速やかに物件移転(除却)に向けて円滑な用地取得を進めるように取り組む。 		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
445,392	445,392	356,314	89,078	

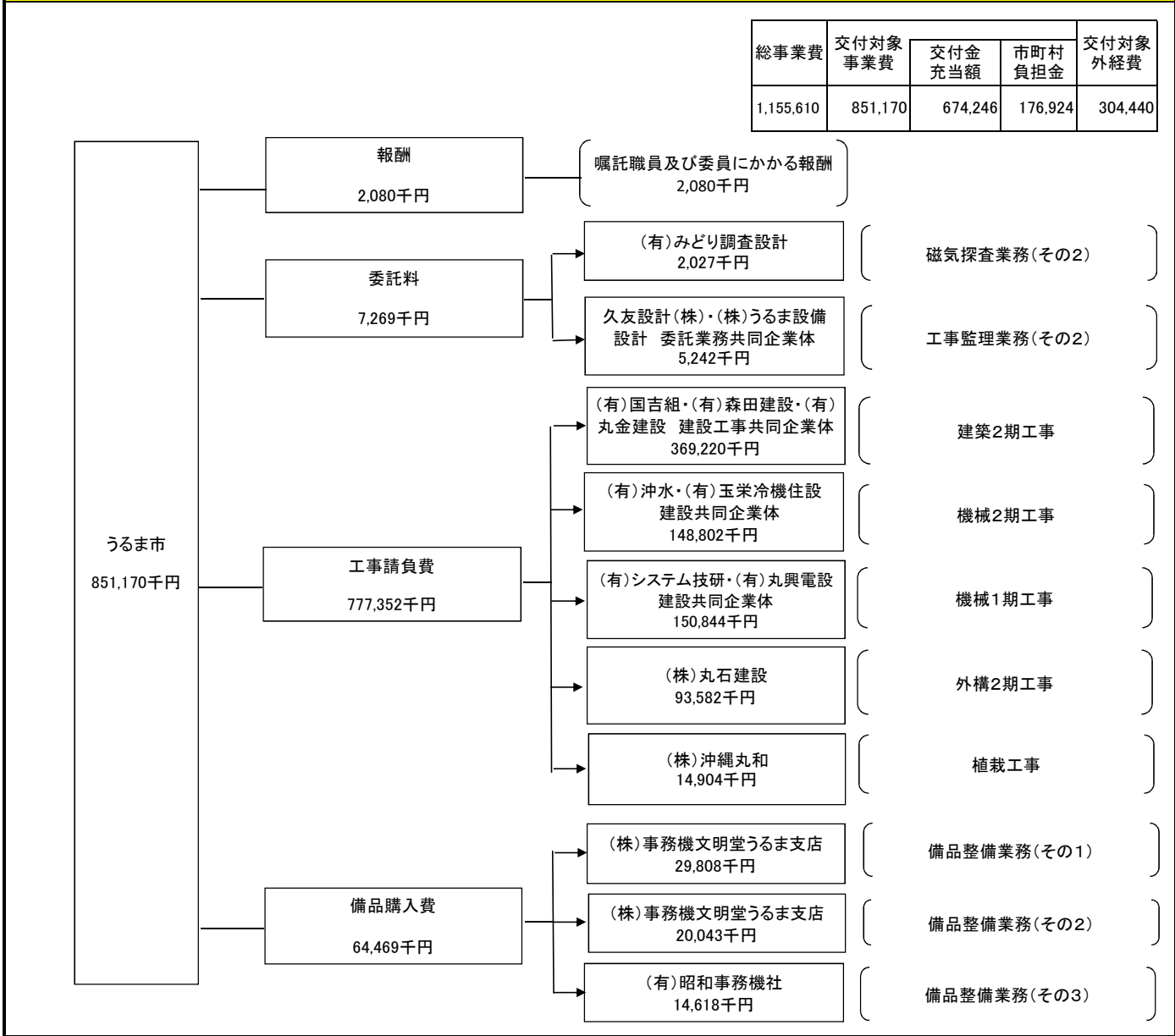


資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務については、その業務内容に即した競争入札や随意契約により適切に実行したと考えている。 ○予算規模については、執行率等から判断し、適正であったと考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		うるま市						
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ			
担当部署名	経済部 農政課	事業実施(予定)年度	平成24~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)			
事業内容	地域特性を発揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(平成30年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	779,614			914,808		
		(b) 予算現額	779,614			914,808		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0		
		(d) 繰越額	0	465,968	0	643,352		
		A. 計(b+d)	779,614	465,968	914,808	643,352		
	B. 執行済額		313,646	432,064	271,456	579,713		
	うち交付金充当額		250,917	345,651	200,063	474,183		
	次年度繰越額		465,968	0	643,352	0		
	執行率(%) (B/A)		40.2%	92.7%	29.7%	90.1%		
予算の状況の説明		指定管理者と協議した結果、当初の厨房レイアウト及び機器類に変更が生じたことで建築第2期工事の着手が遅れた。また建築工事の進捗状況に付随し外構工事の実施も同様に遅れた。備品購入については、POSレジシステム等の備品選定や仕様等の決定までに相当期間を要したため年度内完了が出来ず平成30年度に643,352千円を繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	建築2期工事・外構2期工事着手、備品購入		目標 (建築1期工事、外構1期工事の着手)	目標 (建築2期工事、外構2期工事の着手、備品購入)	()	()		
		実績 建築1期工事、外構1期工事の着手	実績 建築2期工事・備品購入に着手、外構2期工事は繰越して着手					
達成状況説明		建築2期工事は、平成29年8月28日に契約し着手することができた。 備品購入は、平成30年3月6日に契約し着手することができた。 外構2期工事は、平成30年5月2日に契約し着手した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	建築2期工事・外構2期工事の完了、備品購入の完了		目標 ()	目標 (建築1期工事、外構1期工事の完了)	目標 (建築2期工事、外構2期工事、備品購入の完了)	()	()	
			実績	実績 建築1期工事、外構1期工事の完了	実績 繰越して建築2期工事、外構2期工事、備品購入の完了			
	【参考指標】 供用開始後の1年目(平成30年度)の目標を以下のとおりとする。 ・出荷生産者全体の収入額:399百万円		目標 ()	()	()	(399百万円)	()	
			実績			74百万円		
進捗状況説明		建築2期工事は、平成30年9月5日に完了することができた。 外構2期工事は、平成30年10月25日に完了することができた。 備品購入は、平成30年10月29日に完了することができた。 H30年度(11月~3月)成果目標に対する実績は、18%程度の達成状況である。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業目的の実現化に向けては、類似施設で運営実績ある指定管理者のノウハウを活用する必要がある。 建築2期工事、外構2期工事、備品購入については、施設整備内容等に係る指定管理者との協議・調整を踏まえた設計変更やPOSレジシステム等の備品選定や仕様等の決定までに相当期間を要し実施が遅れたため、平成30年度へ繰越し完了となった。 H30年度(11月～3月)の成果目標として掲げた生産者全体の収入額166百万円達成に向けて、11月1日供用開始から円滑に農産物を出荷出来るよう出荷契約農家に対して作付け計画を進めてきたが、供用開始直前に襲来した台風24号(9月)、25号(10月)により農産物生産と出荷に大きなダメージが発生したため、目標数値を達成することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備や運営面について、指定管理者と綿密な協議・調整を行いながら整備を進め平成30年11月1日に供用開始を迎えることができた。 H30年度は、稼働月数が5か月間(11月～3月)で、マンゴーなど一年を通した高付加価値作物の販売が取り込めない状況であったことや台風被害も重なり成果達成には至らなかったが、次年度は通年販売により成果目標399百万円達成を目指す。
	今後の取り組み方針	
<p>当事業目的である地元生産物の消費拡大等により第一次産業の活性化を図るため、指定管理者と連携・協同し当該施設への来店動機と購買意欲への訴求・滞留性を高め消費拡大につながる取り組みを展開し、年間69万人以上の集客と出荷生産者全体の収入額399百万円を目指す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 指名競争入札により選定しており妥当である。 効率性とコスト縮減を踏まえ、公共工事積算基準に基づく適正な予算規模である。 施設設置目的の実現化に必要な費目・使途であり、事業目的に限定した執行を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	